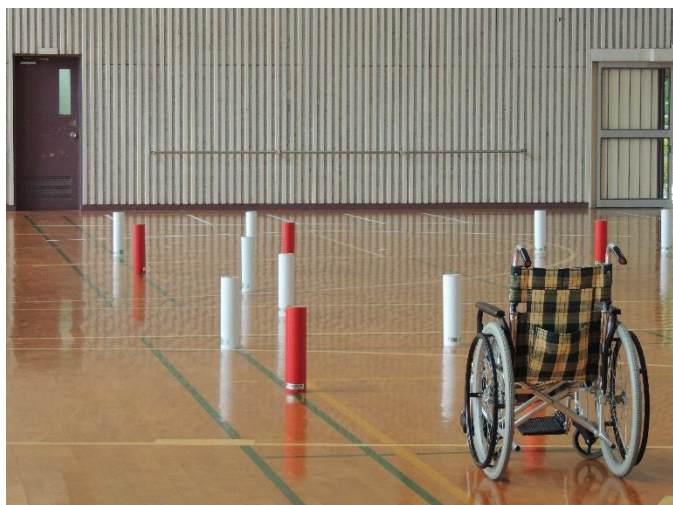
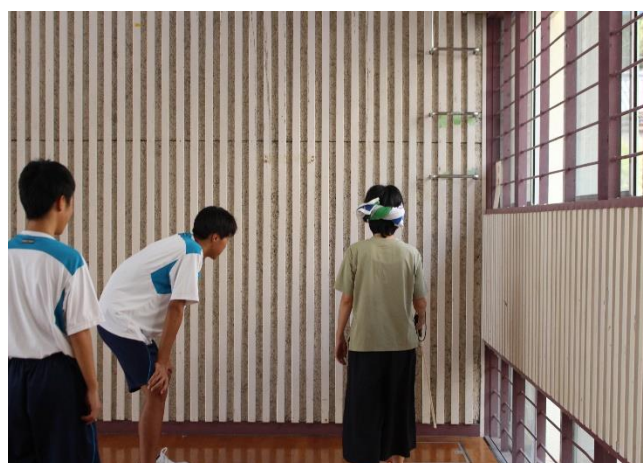


福祉出前講座（１年ふるさと探究）

９月１５日（火）５・６校時に、学校法人向陽学園 長崎リハビリテーション学院の先生方５名をお招きし、歩行補助具の体験をはじめとするリハビリ体験実習を実施しました。体験は２０分ずつ、４つのプログラムに分かれて行いました。







障がい者スポーツ体験ではボッチャ、車いす体験では車いすスラローム、移動困難者体験では視覚障がい者の歩行・介助体験、歩行困難者体験では高齢者や身体障がい者の歩行・介助体験を行いました。実際に車いすや歩行補助具を使用することで、さまざまな立場の人々の視点に立ち、相手の気持ちを自分事として捉えながら学ぶことができました。

特に移動困難者体験では、目隠しをした状態で白杖を使用しながら歩行を体験し、「真っ暗で怖い」「突然触られるとびっくりする」といった感想が聞かれました。また、歩行困難者体験では、器具を装着した状態での歩きづらさを実感するだけでなく、それぞれが設定した年齢になりきって高齢者の気持ちを考えるなど、当事者意識をもって活動に取り組む姿が見られました。

これらの体験を通して、誰もが共にスポーツを楽しみ、安心して暮らすために必要な考え方や工夫について学ぶことができました。今回の学びを、今後の探究活動における「安心・安全なまちづくり」について考える際に生かしていきたいと思います。